

響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

No.34

2012年3月12日 発行



絵 百田 稔さん

行事のお知らせ

行事の報告(1月、2月)

法語



今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

行事のお知らせ

4月12日

木曜日

・14時～
・二木会

4月15日

日曜日

・14時～
・日曜法話会 講師：高田 昌麿 師 本空寺衆徒

4月18日

水曜日

・13～16時
・親鸞教室 法音寺（船橋市）にて

4月26日

木曜日

・15時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師
・17時～ 同朋会 講師：未定

5月10日

木曜日

・14時～
・二木会

5月17日

木曜日

・13～16時
・親鸞教室 勝善寺（南房総市）にて

5月24日

木曜日

・15時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師
・17時～ 同朋会 講師：未定

「二木会」は門徒さんの親睦を深める楽しい会です。初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は「正信偈」を皆でお勤めした後、真宗の教えに遇う大切な場です。現在、「正信偈」を学んでいます。

電車を御利用の方は、市川大野駅まで車で送迎致しますので、お寺に電話お願い致します。（TEL 047-337-5305）

道誠寺で行われる行事は、会費はありません。



6月11日 月曜日	・14時～ ・前坊守13回忌法要
6月14日 木曜日	・14時～ ・二木会
6月18日 月曜日	・13～16時 ・親鸞教室 浄願寺（千葉市）にて
6月28日 木曜日	・15時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師 ・17時～ 同朋会 講師：小林 尚樹 師 教区駐在教導
7月12日 木曜日	・14時～ ・二木会
7月26日 木曜日	・15時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師 ・17時～ 同朋会 講師：小林 尚樹 師 教区駐在教導
8月15日 水曜日	・18時～ ・盂蘭盆会

・6月以降のお寺の行事日程は変わる場合がありますので、その都度、最新の寺報『響』でご確認下さい。

・親鸞教室は、毎回、会場が異なります。
詳しくはお寺に電話お願い致します。（TEL 047-337-5305）

・いずれも平服で構いません。

行事の報告

1月

12日(木)

「修正会」
しゅしやうえ

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十七名参加

みなんで「正信偈」しやうしんげを大きな声でお勤めしました。

住職から新年の挨拶を兼ねてのお話があり、その後、お屠蘇で新年のお祝いしました。



25日(木)

「書道教室」「写経」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

七名参加

パソコンが普及し、字を書くことが段々と少なくなってきました。

今年も「書道」に「写経」と、心静かに集中して字を書いてみませんか？

道具はそろっていますので、手ぶらで大丈夫です。

どうほうかい
「同朋会」

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十八名参加

講師 高田昌磨



一月の同朋会の講師は、道誠寺報恩講のポスターのデザインを手懸けておられる高田 昌磨 師でした。

親鸞聖人のデザインパネルや、『恵信尼消息』（親鸞聖人の妻である恵信尼のお手紙）をもとに、親鸞聖人の生活や時代背景などを分かりやすくお話していただきました。

当日のレジメから、江戸時代後期の曹洞宗の僧侶である良寛りょうかんさんが詠われた歌をご紹介します。

おろかなる

身みこそなかなかうれしけれ

弥陀みだの誓ちかいにあうと思おもえば

不可思議ふかしぎの

弥陀みだの誓ちかいのなかりせば

なにをこの世よの思おもい出でにせむ

高田師のお話は、四月と十月の日曜法話会に続きますので、是非ご聴聞下さい。

2月

9日(木)

にもくかい
「二木会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十四名参加

今回の二木会では、道誠寺2階の

客間にて茶話会をしました。

みなまでお茶を飲みながら楽しく

お話ししましょう！



23日(木)

「書道教室」「写経」
「同朋会」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

七名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十七名参加

講師 小林尚樹

二月は、「正信偈」の

獲信見敬大慶喜ぎやくしんけんきようだいぎきようき

即横超截五惡趣そくおうちようぜつごあくしゆ

一切善惡凡夫人いつさいぜんあくほんぶにん

聞信如来弘誓願もんしんにらいぐぜいがん

仏言広大勝解者ぶつごんこうだいしようげしや

是人名分陀利華ぜにんみようふんだりけ

の「依経分」の部分でした。

「まことの信をえて、いのちの眞実を見て敬い、大きなよろこびに満たされたならば、その時迷いの悪道を願いの力で、横にすみやかにとび超えてたちきるのです。すべての

善や悪にしばらくしている人び

とが仏の願いを聞き信じるな

らば、仏はへほんとうによく

わかった者」と言われます。

この人は「分陀利華」と名づ

けるのです。それは泥に咲い

て濁りにそまらない白蓮華で

す。」という意味(戸次公正さんの意

訳)です。(←以下、一部要約)

「獲信見敬大慶喜」とは、

よろこびに満ちあふれた人に

出遇うことを意味します。

親鸞聖人は、先んじてお念

仏に出遇われた法然上人を

「よきひと」とされました。

そして、その時、「五惡趣(天・人・餓鬼・畜生・地獄)」で

あるある私たちの迷いを「横さまに」超えるのです。

超越というイメージは一般

的には「豎たて」ですが、親鸞聖

人は「横」に超えること、「横

超」を大切にしています。

「豎」というのは、例えば、自

分の力、努力で思うがごとく

苦悩や迷いから超えることを

意味します。それに対して、

「横」は、思うがごとく助から

ないというところにはたらく

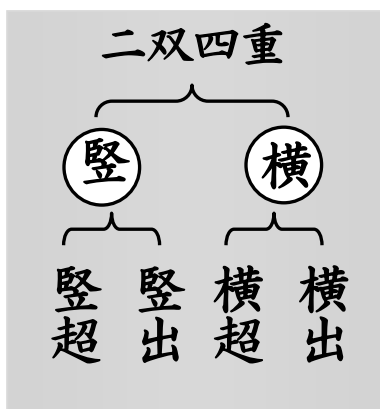
阿弥陀の他力本願の救済を

意味します。

本願の救済とは、自分の思

い通りに苦悩や迷いがなくなることではありません。

本願の救済とは、十方衆生を助けようという呼びかけ、本願のはたらきに出遇うことです。そして苦悩にまみれた今の状況から助かりたいという人間の「豎」型の救済要求を破るものです。思うがごとく助からないような私たち人間存在を苦悩のままに助けようという呼びかけに目覚め、本願の信心をいただくことが「横超」なのです。



おうぜつ ごあくしゅ あくしゅ じねん ぺい
「横截五悪趣 悪趣自然閉」というは、横は、

よこさまという。よこさまというは、如来にょらいの願力がんりきを信しんずるゆえに行者ぎようじやのはからいにあらず。五悪ごあく趣しゅを自然じねんにたちすて、四生ししよつをはなるるを横おうという。他力たりきともうすなり。これを横超おうちようというなり。横おうは豎しゅに對たいすることばなり。超ちようは迂うに對たいすることばなり。豎しゅはたたぎま、迂うはめぐるとなり。豎しゅと迂うとは自力じりき聖道しやうだうのころなり。横超おうちようはすなわち他力たりき真宗しんしゆうの本意ほんいなり。

『尊号真像銘文』

法語

しらぬは

しらぬが

ほとけと

いうけれど

しらぬは

ほんぶで

ありましよう

〃攝取心光 常照護〃

おやささま

いつも

まもりづめ

『念仏詩抄』

木村無相

◆敬弔

※ホームページ上では

公表しません。

生前のご功勞を偲び、念仏合掌して哀悼の意を表します。

編集後記

◆去年の三月十一日の地震から丸一年。この間、都合の悪いものに蓋をして、目先の豊かさを追求していた私たちの姿が顕わになりました。

御懇志

※ホームページ上では

公表しません。

敬称略

ありがとうございました。

編集

真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野 1-26-31

TEL: 047-337-5305

FAX: 047-337-5306

URL: <http://douzyouzi.com>

住職 市野 慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生

順調にものごとが進んでいる時は、そのような自分の姿が垣間見えても、見て見ぬふりをして自分をどこまでも正当化してしまふ私なのです。
常に自己を照らす念仏生活を共にしていきましょう。

しゃんこうせい
(釋光生)